

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年7月9日(2015.7.9)

【公開番号】特開2014-209998(P2014-209998A)
 【公開日】平成26年11月13日(2014.11.13)
 【年通号数】公開・登録公報2014-062
 【出願番号】特願2013-86993(P2013-86993)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月25日(2015.5.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機における目的位置と収納位置との間で移動可能に配置される複数の可動体と、
 一つの駆動源と、

前記複数の可動体を前記目的位置から前記収納位置に移動させるときの前記可動体それぞれについて定められた移動タイミングである第 1 のタイミングと、前記収納位置から前記目的位置に移動させるときの前記可動体それぞれについて定められた移動タイミングである第 2 のタイミングとを異ならせるように、前記駆動源からの動力を各前記可動体に伝達する動力伝達手段と、

を有すること、

を特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記動力伝達手段は、

外周面を備え、さらに、前記外周面に設けられ、周方向の位置を同じにした複数の第 1 カム部と、周方向の位置を互いに異ならせた複数の第 2 カム部とを備えたドラムを有し、前記ドラムを正回転させたとき、各前記第 1 カム部に各前記可動体を従動させることにより、前記第 1 のタイミングを生成し、各前記第 2 カム部に各前記可動体を従動させることにより、前記第 2 のタイミングを生成するように構成されること、

を特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記複数の可動体により構成される可動集合体を複数有し、

前記動力伝達手段は、複数の前記可動集合体を前記目的位置から前記収納位置に移動させるときの前記可動集合体それぞれについて定められた移動タイミングである第 3 のタイミングと、前記収納位置から前記目的位置に移動させるときの前記可動集合体それぞれについて定められた移動タイミングである第 4 のタイミングとを異ならせるように、前記駆動源からの動力を各前記可動集合体に伝達し、

前記第 3 のタイミングにおいて、各前記可動集合体の各前記可動体は前記第 1 のタイミングでそれぞれ移動し、あるいは前記第 4 のタイミングにおいて、各前記可動体は前記第 2 のタイミングでそれぞれ移動すること、

を特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記動力伝達手段は、

前記可動集合体の数に対応する複数の前記ドラムを有し、

各前記ドラムを正回転させたとき、各前記ドラムに設けられた各前記第 1 カム部に各前記可動集合体を従動させることにより、前記第 3 のタイミングを生成し、各前記ドラムに設けられた各前記第 2 カム部に各前記可動集合体を従動させることにより、前記第 4 のタイミングを生成するように構成されること、

を特徴とする請求項 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記動力伝達手段は、各前記ドラムを正回転させたとき、各前記第 1 カム部に各前記可動集合体を従動させることにより、前記目的位置から前記収納位置に移動させるときの前記可動集合体それぞれについて定められた移動タイミングである第 5 のタイミングとして間隔をおかず、各前記ドラムを逆回転させたとき、各前記第 2 カム部に各前記可動集合体を従動させることにより、前記目的位置から前記収納位置に移動させるときの前記可動集合体それぞれについて定められた移動タイミングである第 6 のタイミングとして間隔をおくように構成されること、

を特徴とする請求項 4 に記載の遊技機。

【請求項 6】

複数の前記可動集合体は、略上下方向に配置され、

前記動力伝達手段は、前記第 6 のタイミングとして、上段側の前記可動集合体を下段側の前記可動集合体よりも優先的に移動させるように構成されること、

を特徴とする請求項 5 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

かかる目的を達成するための本発明の請求項 1 に記載の遊技機は、遊技機における目的位置と収納位置との間で移動可能に配置される複数の可動体と、一つの駆動源と、複数の前記可動体を前記目的位置から前記収納位置に移動させるときの前記可動体それぞれについて定められた移動タイミングである第 1 のタイミングと、前記収納位置から前記目的位置に移動させるときの前記可動体それぞれについて定められた移動タイミングである第 2 のタイミングとを異ならせるように、前記駆動源からの動力を各前記可動体に伝達する動力伝達手段と、を有すること、を特徴とする。

請求項 2 に記載の遊技機は、請求項 1 に記載の遊技機であって、前記動力伝達手段は、外周面を備え、さらに、前記外周面に設けられ、周方向の位置を同じにした複数の第 1 カム部と、周方向の位置を互いに異ならせた複数の第 2 カム部とを備えたドラムを有し、前記ドラムを正回転させたとき、各前記第 1 カム部に各前記可動体を従動させることにより、前記第 1 のタイミングを生成し、各前記第 2 カム部に各前記可動体を従動させることにより、前記第 2 のタイミングを生成するように構成されること、を特徴とする。

請求項 3 に記載の遊技機は、請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技機であって、前記複数の可動体により構成される可動集合体を複数有し、前記動力伝達手段は、複数の前記可動集合体を前記目的位置から前記収納位置に移動させるときの前記可動集合体それぞれについて定められた移動タイミングである第 3 のタイミングと、前記収納位置から前記目的位置に移動させるときの前記可動集合体それぞれについて定められた移動タイミングである第 4 のタイミングとを異ならせるように、前記駆動源からの動力を各前記可動集合体に伝達し、前記第 3 のタイミングにおいて、各前記可動集合体の各前記可動体は、前記第 1 のタイミングでそれぞれ移動し、あるいは前記第 4 のタイミングにおいて、各前記可動体は前記第 2 のタイミングでそれぞれ移動すること、を特徴とする。

請求項 4 に記載の遊技機は、請求項 3 に記載の遊技機であって、前記動力伝達手段は、前記可動集合体の数に対応する複数の前記ドラムを有し、各前記ドラムを正回転させたとき、各前記ドラムに設けられた各前記第 1 カム部に各前記可動集合体を従動させることにより、前記第 3 のタイミングを生成し、各前記ドラムに設けられた各前記第 2 カム部に各前記可動集合体を従動させることにより、前記第 4 のタイミングを生成するように構成されること、を特徴とする。

請求項 5 に記載の遊技機は、請求項 4 に記載の遊技機であって、前記動力伝達手段は、各前記ドラムを正回転させたとき、各前記第 1 カム部に各前記可動集合体を従動させることにより、前記目的位置から前記収納位置に移動させるときの前記可動集合体それぞれについて定められた移動タイミングである第 5 のタイミングとして間隔をおかず、各前記ドラムを逆回転させたとき、各前記第 2 カム部に各前記可動集合体を従動させることにより、前記目的位置から前記収納位置に移動させるときの前記可動集合体それぞれについて定められた移動タイミングである第 6 のタイミングとして間隔をおくように構成されること、を特徴とする。

請求項 6 に記載の遊技機は、請求項 5 に記載の遊技機であって、複数の前記可動集合体は、略上下方向に配置され、前記動力伝達手段は、前記第 6 のタイミングとして、上段側の前記可動集合体を下段側の前記可動集合体よりも優先的に移動させるように構成されること、を特徴とする。